



福島原子力事故関連情報アーカイブ

Fukushima Nuclear Accident Archive

Title	学術団体が担う役割と今後の活動(日本原子力学会) - 日本原子力学会福島特別プロジェクトの取り組み
Alternative_Title	Roles played by academic organizations and their future activities in Atomic Energy Society (AESJ) of Japan - Activity of the Fukushima Project of AESJ on remediation and restoration in Fukushima
Author(s)	井上 正(電力中央研究所) Inoue, Tadashi(Central Research Inst. of Electric Power Industry)
Citation	第 54 回アイソトープ・放射線研究発表会要旨集, p.177 54th Annual Meeting on Radioisotope and Radiation Researches
Subject	セッション: 福島への復旧復興の鍵と放射線関連学術団体への期待
Text Version	Publisher
URL	http://f-archive.jaea.go.jp/dspace/handle/faa/141736
Right	© 2017 Author
Notes	禁無断転載 All rights reserved. 「第 54 回アイソトープ・放射線研究発表会要旨集」のデータであり、発表内容に変更がある場合があります。



パネル討論3(7)

学術団体が担う役割と今後の活動（日本原子力学会）
－日本原子力学会福島特別プロジェクトの取り組み－

Roles played by academic organizations and their future activities
in Atomic Energy Society of Japan
-Activity of the Fukushima Project of AESJ
on Remediation and Restoration in Fukushima-

電力中央研究所^{*1}

○井上 正^{*1}
(INOUE, Tadashi^{*1})

「福島特別プロジェクト」は、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故による原子力災害の修復にあたり、現地の視点に立って日本原子力学会の総力を結集して臨むために平成 24 年 6 月に設立されました。

福島の住民の方々が少しでも早く復帰できるよう、住民の方々と国や環境省との間のインターフェースを取る役割を果たすべく、住民の立場に立ち、必要な情報を原子力の専門家集団として、正確でかつわかりやすく発信してきました。

具体的な活動としましては、設立当初から、年 2 回福島県において住民の方々に参加していただきシンポジウムを開催しています。シンポジウムは、環境省、福島県や市町村、医療関係者などを招いて放射線影響、除染、汚染土壌・廃棄物の管理方策などについて、できるだけわかりやすい言葉で発信することを基本に行っており、今後も継続し住民の方々の疑問等に応じていく予定です。さらに本年 3 月には、福島の農産物についての安全対策を知ってもらい風評を払拭するために、東京において「消費者の疑問 ー福島産ってどうなのー」をテーマにシンポジウムを開催しました。

また、環境省と福島県が福島市に設置した除染に関する情報が総合的に集められている除染情報プラザに、これまで延べ 500 名を超える学会員を派遣して来館者の皆様の質問に答えています。さらに市町村の対話集会等へも専門家を派遣し、放射性影響や除染の状況などを説明してきました。

一方、南相馬市の水田において、平成 24 年から、放射性セシウムの稲への移行試験を実施しており、その結果玄米への移行率は極めて低いことが明らかになっています。

平成 29 年 3 月末には、帰還困難区域を除き避難指示が解除されましたが、これらの地域において、住民の方々と対話やリスクコミュニケーションを行っており、福島の住民の方々に配布される個人被ばく線量計の運用や管理、各自治体において実施されている相談員制度についても専門家としてサポートしています。また、除染の進捗や被災地の復興に向けて時に応じて国など行政への提言も行っております。以上のような活動を中心として、「福島特別プロジェクト」では、今後も正確で最新の事実・知識の普及および理解の促進を図り、福島復興に協力していきたいと考えています。

^{*1} Central Research Institute of Electric Power Industry